



2026年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社マサル

上場取引所

東

コード番号 1795 URL <https://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 勝又 健

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 新井 浩

TEL 03-3643-5859

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

: 無

決算説明会開催の有無 : 無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,666	19.7	102		99		82	
2025年9月期第1四半期	2,075	53.3	124		122		99	

(注)包括利益 2026年9月期第1四半期 59百万円 (%) 2025年9月期第1四半期 97百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	92.37		
2025年9月期第1四半期	112.42		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	8,671	5,075	58.5
2025年9月期	8,806	5,277	59.9

(参考)自己資本 2026年9月期第1四半期 5,075百万円 2025年9月期 5,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 160.00	円 銭 160.00	円 銭 160.00
2026年9月期					
2026年9月期(予想)		0.00		110.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	5,800	1.4	280	33.4	290	32.8	200	27.6	224.82	
通期	10,700	0.5	450	29.5	480	27.1	280	30.9	314.75	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期1Q	901,151 株	2025年9月期	901,151 株
期末自己株式数	2026年9月期1Q	11,629 株	2025年9月期	11,558 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期1Q	889,546 株	2025年9月期1Q	886,038 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しております。企業の業況感は総じて底堅く推移しており、米国の通商政策を巡る不確実性についても、先行きの下振れリスクは、これまでと比べて低下しつつあるものとみられます。また、人手不足への対応を背景とした省人化投資は、企業活動の効率化を通じて経済成長にも寄与しており、政府による経済対策も景気の下支えとして作用しております。一方で、消費者物価については、賃金上昇を背景とした販売価格への転嫁の動きが継続していることから、引き続き緩やかな上昇基調で推移するものと見込まれます。

当社グループを取り巻く事業環境について、国土交通省の「建設工事受注動態統計調査」によると、国内大手50社の民間工事受注高は月により変動はあるものの前年同月比で僅かに減少しており、部門別では製造業における受注高の減少が相対的に大きい状況です。

また、三鬼商事㈱の調査によると、東京都心5区のオフィス賃貸市場では、大規模ビルへの移転や拠点再編に伴う解約が一部で見られた一方、事業拡大や拠点再編を背景とした大規模成約、分室需要、拡張・フロア集約等の成約が継続して確認されております。この結果、空室率は低下しており、賃料についても坪当たり2万円を超える水準で上昇基調にあります。

このような経営環境のもと、当社グループは、新築市場、改修市場および子会社セグメント市場において、採算性に留意しつつ安定的な受注基盤の確保に向けて取り組んでまいりました。また、受注案件における工期の長期化ならびに資材・労務費の上昇が収益に与える影響を踏まえ、見積精度の向上および原価管理体制の強化等、リスク管理の徹底にも注力しております。加えて、子会社の経営管理を強化するとともに、成長領域と捉える直接受注市場の開拓や成長分野への投資にも継続して取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、受注高20億48百万円（前年同四半期比65.3%減）となりました。売上高につきましては、16億66百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。利益につきましては、営業損失は1億2百万円（前年同四半期は営業損失1億24百万円）、経常損失は99百万円（前年同四半期は経常損失1億22百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は82百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失99百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建設工事業)

売上高は13億37百万円（前年同四半期比22.5%減）となり、セグメント損失は1億18百万円（前年同四半期セグメント損失は1億42百万円）となりました。受注高につきましては、18億80百万円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

(設備工事業)

売上高は3億28百万円（前年同四半期比5.8%減）となり、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。受注高につきましては、1億68百万円（前年同四半期比94.9%減）となりました。

なお、当社グループは、完工工事物件の引渡しが第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中するため、四半期連結会計期間の売上高には季節的変動があります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は63億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少いたしました。これは主に完成工事未収入金が減少したことによるものであります。固定資産は22億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。

この結果、総資産は86億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は29億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円増加いたしました。これは主に契約負債が増加したことによるものであります。固定負債は6億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は35億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は50億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い、利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.5%（前連結会計年度末は59.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月14日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	3,364,809	3,036,618
受取手形	24,100	—
电子記録債権	343,061	368,767
完成工事未収入金	1,210,812	506,735
契約資産	539,644	886,286
未成工事支出金	860,006	1,315,882
材料貯蔵品	12,173	12,268
その他	201,255	272,686
貸倒引当金	△1,024	△790
流动資産合計	6,554,839	6,398,454
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	623,577	620,044
土地	547,608	547,608
その他（純額）	35,984	35,368
有形固定資産合計	1,207,170	1,203,020
無形固定資産		
のれん	328,145	306,269
ソフトウエア	5,750	5,150
その他	5,216	4,719
無形固定資産合計	339,112	316,139
投資その他の資産		
投資有価証券	165,399	199,481
繰延税金資産	154,403	167,630
その他	458,126	458,989
貸倒引当金	△72,350	△72,350
投資その他の資産合計	705,578	753,750
固定資産合計	2,251,860	2,272,910
資産合計	8,806,700	8,671,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
工事未払金	567,304	586,295
电子記録債務	223,194	226,692
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	276,242	235,732
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
未払法人税等	190,708	9,806
契约負債	821,946	1,241,234
賞与引当金	253,907	46,540
役員賞与引当金	69,124	11,468
完成工事補償引当金	7,353	37,001
工事損失引当金	57,723	65,944
その他	269,857	336,905
流动負債合計	2,833,360	2,993,621
固定負債		
社債	510,000	486,000
长期借入金	127,516	58,898
その他	58,378	57,103
固定負債合計	695,894	602,001
負債合計	3,529,255	3,595,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,269,981	1,269,981
利益剰余金	3,111,670	2,887,166
自己株式	△34,123	△34,431
株主資本合計	5,233,225	5,008,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,218	67,328
その他の包括利益累計額合計	44,218	67,328
純資産合計	5,277,444	5,075,742
負債純資産合計	8,806,700	8,671,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
完成工事高	2,075,275	1,666,253
完成工事原価	1,863,921	1,437,112
完成工事総利益	211,353	229,141
販売費及び一般管理費	335,932	331,679
営業損失(△)	△124,578	△102,538
営業外収益		
受取利息	16	84
受取配当金	890	1,092
受取賃貸料	510	1,292
技術指導料	2,350	2,374
その他	1,046	1,884
営業外収益合計	4,815	6,727
営業外費用		
支払利息	2,269	2,770
その他	32	604
営業外費用合計	2,302	3,374
経常損失(△)	△122,065	△99,185
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,065	△99,185
法人税、住民税及び事業税	8,550	6,847
法人税等調整額	△31,008	△23,863
法人税等合計	△22,457	△17,016
四半期純損失(△)	△99,608	△82,168
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△99,608	△82,168

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△99,608	△82,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,289	23,109
その他の包括利益合計	2,289	23,109
四半期包括利益	△97,319	△59,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,319	△59,059

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建設工事業	設備工事業	合計		
売上高					
一時点で移転される財またはサービス	546,865	174,645	721,511	—	721,511
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	1,179,750	174,013	1,353,763	—	1,353,763
顧客との契約から生じる収益	1,726,616	348,658	2,075,275	—	2,075,275
外部顧客への売上高	1,726,616	348,658	2,075,275	—	2,075,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,726,616	348,658	2,075,275	—	2,075,275
セグメント利益又は損失 (△)	△142,447	17,490	△124,956	378	△124,578

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額378千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建設工事業	設備工事業	合計		
売上高					
一時点で移転される財またはサービス	390,615	156,676	547,291	—	547,291
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	947,044	171,918	1,118,962	—	1,118,962
顧客との契約から生じる収益	1,337,659	328,594	1,666,253	—	1,666,253
外部顧客への売上高	1,337,659	328,594	1,666,253	—	1,666,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,337,659	328,594	1,666,253	—	1,666,253
セグメント利益又は損失 (△)	△118,103	15,535	△102,567	29	△102,538

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額29千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	6,055千円	8,638千円
のれんの償却額	21,876千円	21,876千円